

健康的な天然木材の床

フローリング・ニュース

発行所：日本フローリング工業会
編集責任者：広報法務委員長 石本 勝範

〒135-0033 東京都江東区深川12-5-11 木村会館507号
TEL03-3643-2948 FAX03-3643-2990 <http://www.j-flooring.jp>

2010年を迎えてひと言 国産針葉樹フローリング普及啓蒙で環境貢献へ寄与

日本フローリング工業会会長
株式会社マルコー代表取締役社長 田伏恬弘



2010年も早2カ月を過ぎましたが、会員の皆様方におかれましてはますますご健勝のことと存じます。旧年中は、多大なご支援、ご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。本年も変わらぬご支援のほどお願いいたします。

09年は我々建築に関わる業界にとりまして、過去にないほどの多難な年でありました。新設住宅着工戸数は1964年以来45年ぶりに80万戸を割り込みました。前年から約3割弱もの新築需要がマーケットから消失したことになります。なかでも、フローリング業界と密接に関係する分譲マンションの落ち込みは激しく、前年比58%減というかつてない深刻な状況で、在庫調整に走る業者による「投げ売り状態」を招き、過酷な状況は現在でも続いております。

このような状況において、工業会の動きとしましては昨年2月、木材業界で先駆けて政府の金融危機緊急対策本部からのヒヤリングに応じ、フローリング含む内装業界の現状について報告するとともに、公共建築物の木質内装化など工業会会員にとって有益となるような陳情をしました。その後、文部科学省の武道場整備や、昨年末に発表された森林・林業再生プランなど、業界とりわけ国産材にとって追い風となるような施策が相次いで発表されたのは記憶に新しいところです。

関連しまして、フローリングのPR活動につきましては東京、大阪、名古屋地域におきまして関係省庁および市町村へ公共建築物へのフローリング利用推進を働きかけました。その際、生産部会、施行流通部会の執行役員をはじめ、各支部から多くの会員の皆様にご協力いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

年間を通した活動におきましては、JAS制度に対応した生産製造工程・検査等の品質管理体制を確立し、JASの格付けや出荷管理を的確かつ適正に行ってまいりました。4VOC自主規制につきましても関係団体と連携し基準をクリアした製品の供給を推進、性能付加製品や国産針葉樹フローリング製品の開発などにも取り組んでまいりました。

今後につきましては、全面改訂となりました「フローリング張り標準仕様書」が2月に発行となりました。技術委員をはじめ、編纂に当たった会員の皆さまの尽力のおかげと感謝いたします。仕様書では、長年懸案だった針葉樹単層フローリングの公共建築物への対応をはじめ、「直張り」や接着剤など現状に即した仕様書へと改訂、より実践的な仕様書に改訂できました。6月以降には工業会主催の講習会も開催いたしますので、会員の皆様奮ってのご参加をお待ちしております。

2010年も前年同等の厳しい景況が予測されているところですが、工業会としましては関係省庁とも関係を密にし、工業会会員の皆様にとって有益となるような活動を心がけてまいりたいと思います。具体的には国産針葉樹という環境貢献度の高い素材を使った単層フローリングの普及を通して、フローリングを中心とした内装、木材および林業の関連産業へ貢献したいと考えます。会員ならびに関係各位の健康とますますのご繁栄を祈念致しまして、あいさつに代えさせていただきます。

要点解説『施工標準仕様書』全面改訂

国産針葉樹フローリングの公共建築物への対応図る

工業会は2月1日、「フローリング張り標準仕様書」を5年ぶりに全面改訂、「直張り」の定義を明確化したことや使用接着剤、釘などについて、現状とかい離していたフローリング施工の諸問題について改訂、明記している。JAS規格で節条件によって使われなかった針葉樹単層フローリングの公共建築物への利用など、フローリング施工の手引書として必携だ。6月から東京、大阪、名古屋の3都市で講習会が開催予定となっているが、その前に今回改訂となる要点を中心に解説する。

直張り工法の定義を明確化

改訂のポイントとなる工法の定義では、主流の乾式工法を従来からある、1根太張り工法、2直張り工法に、3直張り接着工法を加えた3区分とした(図参照)。近年、マンション施工やビル施工など新たな需要の増加から、製品の生産から設計、施工までの現場で「直張り」の定義が統一されていなかった。新仕様書では実情とかい離した定義を統一、施工や生産過程における統制を図っている。

直張りは、ノリ釘併用および釘打ち工法とされ、遮音二重床下地や合板下地など、平滑

であり単独で強度を有する床下地上に、単層フローリングや複合フローリングなどをノリと釘、または釘のみで留めるものとした。一方、直張り接着工法は、釘は使わずコンクリート系下地に接着剤で直接張る工法とした。根太張りは、大引き根太などの木製根太組みに直接フローリングを張る工法で、ノリと釘で留めることからノリ釘併用工法に分類した。

1、3については、JAS規格で2メートル以内に6個など節数の条件がついていたが、合板などの捨て張りによって「平滑であり単独で強度を有する下地上に施工する工法」として明記している。強度が担保される下地材を使用すれば、2同様に節数条件が無関係となるもので、JAS規格を要求される体育館など公共建築物における針葉樹単層フローリングの施工が現実的になる。新仕様書では、これまで付随項目だった「体育館フローリングの施工方法」を新項目として掲載、特需への対応を図っている。

工法		床下地	
乾式工法	直張り接着工法	コンクリート・モルタル金コテ押さえセルフレベリング合板	
	ノリ釘併用工法	発泡プラスチック系鋼製床 乾式遮音二重床 下地板張り	
		床暖房	電気式 温水式
	釘留め工法	発泡プラスチック系鋼製床 乾式遮音二重床 下地板張り	
根太張り工法	ノリ釘併用工法	木根太	
		床暖房	電気式 温水式
湿式工法	モルタル埋め込み工法	コンクリートスラブ(コンクリートブロック)	

ユーザー配慮で「メンテナンス」項目を新設

改訂ポイントはまだある。技術開発の進歩によって、現状ではほとんど使われない接着剤と釘について整理している。接着剤については、エポキシ樹脂系、ウレタン樹脂系、アクリル樹脂系の3種とし、酢酸ビニル樹脂系は削除した。ムクフローリングは、温度湿度の変化に合わせて膨張収縮する性質のため、フローリングが膨張収縮することによってはがれるケースがある。そのため膨張収縮による木材の動きに対応する接着剤として弾性特性のあるウレタン樹脂系、エポキシ樹脂系またはアクリル樹脂系エマルジョン形の接着剤が適していると結論付けた。ほか、釘はスクリュー釘、ステーブルなどと現在の工法に則した使用部材を規定した。

施工業者向け研修会を東京、名古屋、大阪で6月から開催

新仕様書の販売価格は会員が400円、非会員は1000円。また、施工業者向けに技能者養成研修を東京、大阪、名古屋の3会場(定員80人程度)で6月移行に行う予定で、参加費5000円(仕様書代金含む)となっている。

トピックス

●14カ月連続減少、12月着工床面積

国土交通省が発表した12月の新設住宅着工床面積は、前年同月比10・2%減の586万8000平方メートルとなり、前年実績を13カ月連続で下回った。

一方、全建築物の着工床面積は、前年同月比21・7%減の942万8000平方メートルとなり、14カ月連続の減少。建築主別では、公共＝69万平方メートル(8・8%増)、民間＝873万平方メートル(23・3%減)。構造別では、木造＝424万平方メートル(3・1減)、非木造＝517万平方メートル(32・3減)となっている。

●年計78万戸、45年ぶりの低水準

2009年の新設住宅着工戸数は、前年比27・9%減の78万8410戸。季節調整済み年率換算値は81万8688戸(前月比3%増、前年比25%減、08年＝109万3485戸)。通年で64年の75万1429戸以来、45年ぶりに80万戸を

割り込んだ。63年は75万戸、65年は84万戸だった。100万戸割れは67年以來42年ぶり。特にマンションが大きく落ち込み、前年比58・0%減の7万6678戸は、統計を取り始めた85年以來、最低を記録した。

●住宅版エコポイントが3倍に、アキュラホーム

低価格木造住宅を全国展開しているビルダーのアキュラホーム(東京都新宿区、宮沢俊哉社長)はこのほど、「住宅版エコポイント3倍キャンペーン」を実施した。契約者を対象に先着30棟限定で、新築1戸につき発行される30万円相当のエコポイントを、最大90万円相当の住宅設備オプションと交換できる。オプション商品には、節水トイレや食器洗い乾燥機、地デジ浴室テレビなどがあり、例えば30万ポイントは、食器棚(41万円)+LED照明(24万円)+IHクッキングヒーター(21万円)＝86万円(工事費込み)に交換できる。

●DIYの全店売上高、19年連続増加

日本ドゥ・イット・ユアセルフ協会(東京都千代田区、坂本洋司会

平成21年度施工流通部会

フローリング張り標準仕様書の改訂作業

施工流通部会(中川俊勝部会長)は平成21年11月19日、愛知県犬山市の「迎帆楼」で平成21年度施工流通部会を開催、部会員をはじめ生産部会、本会理事ら35人が出席した。会議では通常議事に加え、古田英之技術委員長によるフローリング張り標準仕様書の全面的な改訂案の説明や国産針葉樹フローリング、複合フローリングを取り巻く状況変化、各地の現況報告などが行われた。

冒頭、中川部会長はあいさつで「まだ先が見えない状況が続いている。情報交換し有意義な大会にしたい」と述べた。議事では、部会の収支報告や22年度事業計画案が説明されたほか、今後の部会のあり方などについて意見交換も行われた。

◇国産針葉樹フローリングについて情報提供、久津輪光一氏(池見林産工業)

東京都港区が検討しているカーボンオフセットをビルに採用する情報について「ビルの内装に針葉樹を使うとクレジットを発行するという制度だが、これは莫大な需要を生み、宝の山になる可能性がある」との見方を述べた。さらに住宅大手5社が「エコ、リサイクル、二酸化炭素などをテーマにした住宅をつくりたいと提案している」と述べ、これも大きなビジネスチャンスになると指摘。

2009年度施工流通部会大会



あいさつする中川俊勝部会長

東京都港区のカーボンオフセット採用の情報について工業会・日比野義光専務理事は「港区が三菱総研に発注して、夏頃(2010年)から動きそう」と説明を加えた。

◇複合フローリングについて情報提供、三枝俊樹氏(空知単板工業)

「大型積層材は体育館の工事が耐震補強や避難場所に指定され、8月は忙しく、9月から11月は例年端境期だが今年はピーク時と同じ仕事があり残業している」と体育館特需だと報告した。反面、一般住宅向けはカラーフロア用単板は今年4月が4分の1に落ち込み、その後、持ちなおしているが全国的に半分程度の水準だと述べた。

平成21年度第3回理事会

フローリング張り標準仕様書発行を承認

平成21年度第3回理事会が東京・木材会館で開催、来年度予算案ほか5年ぶりに改訂した「フローリング張り標準仕様書」の発行に関する議案を満場一致で承認した。今回は国土交通省木造住宅振興室長の越海興一氏が「木造住宅の現状と振興施策等について」を演題に講演、「リフォーム需要や地域材需要など今後増加する分野もある」と述べた。

議案は予算関係、需給調整会議において慎重な審議が行われた。また、5年ぶりの改訂となったフローリング張り標準仕

様書に関して、古田英之技術委員長が説明した。今回の改訂では乾式工法における「直張り」工法の定義を現場に合わせるように分類化、整理したことが大きなポイント。加えて、接着剤や釘などの使用部材の条件を変更、体育館施工やメンテナンスの項目を新設した。

そのほかの議案では、意見交換において各支部から「特に需要の落ち込みを反映して供給、施工サイドともに価格などの面で厳しさを実感する」などの意見がでた。

長)はさきほど、会員のホームセンター55社(全体では小売業75社、卸売業107社、製造業308社など計515社)の2008年度決算概要(速報ベース)を発表した。全店売上高は前年度比1.4%増の2兆8931億円となり、調査開始以来19年連続で増加した。店舗総数は同2.3%増の3168店舗(1社あたり平均54店舗)、売場総面積は同5.1%増の1035万平方メートル(1店舗あたり平均3340平方メートル)となり、店舗の増加や大型化が進展している。

●建築確認を簡素化、国交省

国土交通省はこのほど、建築確認の手続きを6月から簡略化すると発表した。平均70日かかっている審査期間の半減を図るため、建築基準法を改正(3月末に公布、6月に施行)、制度の運用を改善する。今回、国交省が明らかにした改善案では、申請に必要なチェック項目を9割減らすなど確認審査の迅速化を進めるほか、構造計算概要書を廃止するなど申請図書を簡素化する。2005年に発覚した耐震強度偽装事件を受けた審査の厳格化が、新設住

宅着工の落ち込みを招いたとの指摘が業界団体や実務者にあり、手続きの長期化・煩雑化が問題視されていた。

●省エネ対策を木材利用につなげる突破口、東京・新木場で事例発表会

政府提唱の森林・林業再生プランが「10年後木材自給率50%」を目標に掲げるなか、需要面である木材利用に変化が起きている。フランチャイズチェーンのコンビニ店舗を含む外食チェーンが新規出店店舗を木造化する動きだ。なかには国産材・FSC認証といった環境対策における戦略的な店舗展開をみせる動きもある。この駆け込み的展開の背景には今年4月施行の改正省エネ法が少なからず影響している。そうしたなか、木材利用推進中央協議会は3月中旬、東京・新木場で「新しい木材利用」事例発表会を開催し、国産材を含む木材利用への先進的な取り組みを事業者が明らかにする。

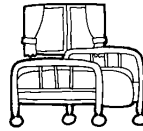
九州支部だより

【九州支部長 池見林産工業株式会社 専務取締役 久津輪 光一】

2月の厳寒の折（九州では雪がちらちらすると凍え上がり、1cmでも雪が積もると車は動かず、弊社では工場が休業となります。なぜならば殆どの社員がチェーンを持たず、持っても巻き方も知らず、スタッドレスタイヤなど見たことない???という状況）、そんな中、九州支部のメンバーが博多に集結いたしました。新年会を兼ねて支部会を開いたのです。もっとも、博多の2月は実に玄界灘の魚が旨い季節！おおいに親睦を図りながら舌鼓を打とうという作戦でした。とはいえ、九州支部会のメンバーの面目にかけてご報告しますと、きちんと支部会の会合は喧々囂々の議論の中、次年度の役員選出、活動内容、昨今の業界の現況の報告・検討と、活発な意見交換を行いました。さて、会合から懇親会へと自然に流れ、地域の銘酒と焼酎と冬の味覚で夜の中洲をスタートさせました。やはりメンバーの年齢通りか？60代前後が集うと、話題は必然的に「人間ドックなどの健康の話題」「子供の結婚問題」「経済問題」などが飛び交

ていました。特に悩ましいのが健康問題。あそこのドックが有名だ！どこそこの医者はガン発見の名手だ！いやいや、日頃の健康食品が大切だ！などの話題が出ていました。確かに、全国のメンバーを見ても、既に還暦を迎える（迎えた？）先輩方が大勢いらっしゃる中、健康問題は大切なことであり、最優先の事項。やはり、いつまでも若く、精力的に、体を気にせず社業に励むことが出来れば本当に幸せなことだと思います。

弊社の社長は現在84才。いまだに毎日工場を隅から隅まで歩いていきます。会長にいたっては、現在103才！毎朝4時に起きて執筆活動の後、恒例の散歩。東京～大分を一人で飛行機に乗って移動するという、ハンドレッドパワーを見せています。小生52才。まだまだ「よちよち歩きのひよっこ」だなと感じる今日この頃です。



ひとこと

平川木材工業 平川和彦

「木を売る意義」

「何千年も続いてきた住宅のあり方をここ数十年でそんなに急激に変えてよいものか。」

最近、そんな事を弊社の社長が言っておりました。

確かに、ご存知の方も多いかと思いますが、木はその機能だけではなく、人の健康や精神に大きく関わっている事を示唆するような研究データがあります。

例えば、静岡大学研究室の異なる床材がどのような影響があるかを調べた実験がありますが、その結果、床材質がマウスの繁殖数、その後の体重増加、臓器の発達におよぼす影響は極めて大きく、その評価は木製ケージが最も優れ、コンクリート製ケージが劣っているという結論でした。

人に単純に当てはめる事は出来ないとは思いますが、非常にショッキングなデータではあります。

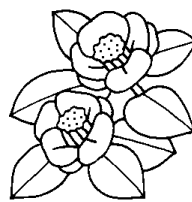
また、九州大学の木の机を使った比較実験では、木の机で勉強をする子どもの方が、他のクラスの生徒より風邪を引く子どもが少なく、血液を見てみると免疫力が向上していたというデータがあります。

さらに別の実験では、木の揮発成分により、左前頭部

の脳活動が高まったとの実験結果もあったそうです。

我々は、フローリングを広く社会に提供していく事で、実は人の健康や広い意味で地球環境に寄与しているのだと思います。

そういった意識で日々仕事に取り組みればと思います。



● 広報法務委員連絡先

委員長 石本 勝範 06-6538-7221
 委員 平畑 信夫 0123-72-1223
 委員 平野井景一 0184-56-2500
 委員 矢野 伸和 047-353-2100
 委員 佐藤 正明 0547-45-2174
 委員 當舎 弘造 072-276-1600
 委員 久津輪光一 097-592-2122

● 告知版

・3月4日(木)・・・熱海ロイヤルウイングで平成22年度総会を開催
 ・6月・・・施工技能者向け「フローリング張り標準仕様書」技能者養成研修を開催(東京・大阪・名古屋)

● 会員動向 平成22年2月28日現在

会 員	71社
賛助会員	22社
合 計	93社

会員会社の広告 掲載したい会員会社の方は、広報法務委員までご連絡をお願いします。

● 編集後記

日本書紀にはスサノオノミコが髭、胸毛、眉毛を抜いて杉、桧、檜、楠といった木を作り、杉と楠は船に、桧は家屋に、檜は棺桶に用いると良いと教えられたと記されている▼子のイタケルノミコは日本中に木を植えてまわり、最後に紀伊国に鎮まった。そのイタケルノミコを祀る伊太祁曽神社(和歌山県)では山林業・木材業・材木業など木に携わる業種の繁栄の徳が受けられる▼エコポイント導入による駆け込み需要や公共建築物への木材利用、住宅における地域材需要。今年1年で十分な恩恵を受けたら、必ずやお礼参りへと馳せ参じたい。現実となるよう願いを込めて。